

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
実施報告書

報告者名	石黒志保	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名	
	氏名	所属
	石黒志保	山形大学 人文社会科学部 (エクステンション推進サービス本部) 講師
	迎田浩昭	長井市立図書館館長
	山口明美	長井市立図書館副館長
	後藤拓朗	一般財団法人文教の杜ながい事務局長
	新野弘明	長井市地域づくり推進課長
	渋谷和志	長井市観光文化交流課課長
	木村真由美	長井市観光文化交流課主査
	吉川幸代	長井市地域づくり推進課 補佐
活動名	長井の歴史発見！プログラム	
連携して活動を行ったプラットフォーム加盟機関名	長井市	
活動報告	<p>≪活動内容≫ 2023年9月にリニューアル開館した、長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」(指定管理者：アウデオSAD株式会社)に併設された長井市立図書館には地域の歴史を知る郷土資料コーナーが設置されている。また、同市には歴史資料を保存・活用している一般財団法人文教の杜ながいがあり、相互で郷土資料の利活用が望まれていた。</p> <p>本活動では、文教の杜ながいで所蔵する、江戸後期の長井が最上川舟運で賑わう様子が知れる『東講商人鑑』、また長井の歴史を知るための郷土資料を展示する「舟運のまち、長井」展を新図書館カウンター前で行い、図書館利用者に長井の歴史を紹介し、地域の歴史を身近なものとして感じてもらうことを目的とした。併せて、長井市立図書館と文教の杜ながい及び長井市の連携事業として、展示構成・展示場所、パネル作成、広報活動を連携して行うことで、今後の郷土資料の展示にとどまらず、文化資源の活用について図書館、地域の資料館の在り方を考えるイベントになった。</p> <p>展示名：「舟運のまち、長井」 展示期間：2024年2月23日(金祝)～3月24日(日) 31日間 展示場所：長井市立図書館 カウンター前</p> <p>≪実施した効果≫ 利用者からは、「長井の歴史が観てとれて昔を偲ぶことができた」「古文書を残し読み解くことの大切さがわかった」「実際に文献(書籍)の展示もしており大変興味深く拝見した」等の声をいただいた(別紙アンケート参照)。また会期中、440人の観覧者数(目視による概算,3/19現在)があり、多くの方に興味を持ってもらった。</p> <p>また、展示場所であった長井市立図書館のスタッフからは、普段の図書館の様相とは異なる歴史の展示を行えたことや、利用者へ地域史の興味関心を惹起できたことが良かったとの声を頂いた。</p>	

実施スケジュール	≪スケジュール≫ 2024年8月～10月 展示期間・展示資料・構成等打ち合わせ 2024年11月 展示資料決定,展示ケースオーダー 2024年12月～1月 展示パネル原稿作成, 展示ケース修繕 2024年1月 パスファインダー（ブックリスト）作成, フライヤー作成・校正 2024年2月 展示パネル原稿校了, フライヤー配布 2024年2月23日 開館前、展示作業 2024年2月23日～3月24日 展示期間 2024年3月25日 撤収作業（予定）						
支援金の用途報告	99,055 円						
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	修繕費	展示ケース修繕費	1	×	86,900	=	86,900円
	展示用品	イーゼル	2	×	5,269	=	10,538円
	展示用品	コピー用紙他	1	×	1,617	=	1,617円
				×		=	円
次年度の計画について	報告者（石黒）に展示経験があり、初年度の今回は展示構成やスケジュール管理が行えたが、今後は図書館と地域の資料館が独自で展示、または文化資源を利活用するイベントの企画を地域で行えるように促すため、次年度は継続的に展示企画を行い、図書館イベントとしての定着化を図りたい。また、資料保存の観点から展示ケースに飛散化防止フィルム等、安全に展示できる環境を完備したい。						
本事業へのご意見・要望	以前から自治体に予算や人的資源がないとの声を頂き、地域の文化資源の活用に取り組みたいと思っていました。今回、本事業で援助を頂いたことで、まだまだ小さな一歩だと思っておりますが、文化資源を地域の方へ還元できたのではないかと思います。ありがとうございました。						
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。							

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyouyou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp